



IXIL スタイルシェード【樹脂サッシ枠付用】 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※□内は、ロット No. 表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

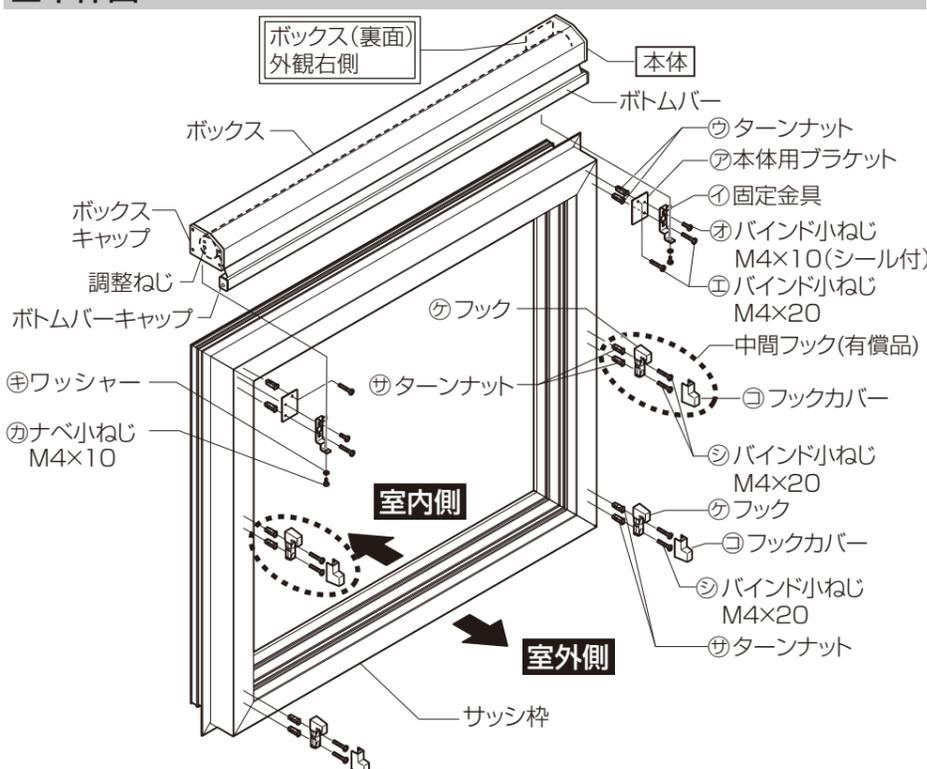
●本製品の落下・転落や、作動不良の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・必ず指定のねじで取付けてください。
- ・ブラケット、本体の固定ねじは、 $2.5 \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ [$25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。
- ・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。
- ・下穴をあける際は、指定のドリル径を使用してください。

■取付け上へのお願い

- 本製品は、以下の樹脂サッシ引違い枠に取付け可能です。
製品名：エルスター X・S、トリプルマイスター、マイスターII、フォルティア
- 木の葉や細かい小枝がたえず動くような風（風速 5m/s 程度）が吹いているときは、シェードを巻き上げてください。あおられて製品が破損するおそれがあります。
- 生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気をつけてください。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。
- 2階以上のサッシへ取付ける場合、足場を組むなどの安全措置をとってください。
- 本体は水平に取付けてください。水平が出ていないと、生地の巻乱れが生じ、生地の消耗につながります。
- 外観左側（2枚仕様は両側）のボックスキャップ中央にシェード巻取りスピードの「調整ねじ」があります。取付けの際は、工具が入るスペースを確保することをおすすめします。

■本体図



■部品・ねじ一覧表 (□内には部品色記号が入ります)

| □-13-HAAW | | | | | | | □-02-HAAN | | | | |
|--------------------|-------------|---------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------|--------------|-----------|--------|---------------|---------------|-------------------------|
| ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ | サ | シ |
| | | | | | | | | | | | |
| 本体用ブラケット ／左右各1個 | 固定金具 ／2個 | ターンナット ／4本 | バインド小ねじ M4×20 ／4本 | バインド小ねじ M4×10 (シール付) ／2本 | ナベ小ねじ M4×10 ／2本 | ワッシャー ／2個 | 取付け説明書 | フック／2個 | フックカバー／ 2個 | ターンナット ／4本 | バインド小ねじ M4×20 ／4本 |

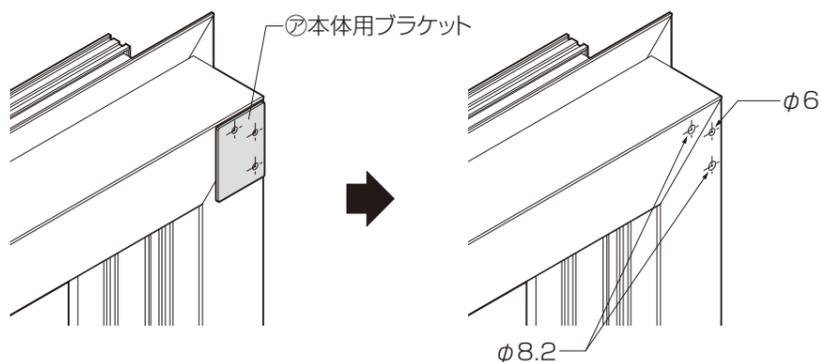
■取付け順序

1 本体用ブラケット・固定金具の取付け

- ① 本体用ブラケットをサッシのコーナーに図のように合わせ取付け穴位置の墨出しをします。
- ② 墨出し位置に一度φ 4.5 程度の下穴をあけ、さらに下図のとおりφ 6 とφ 8.2 の下穴をあけます。

▲注意

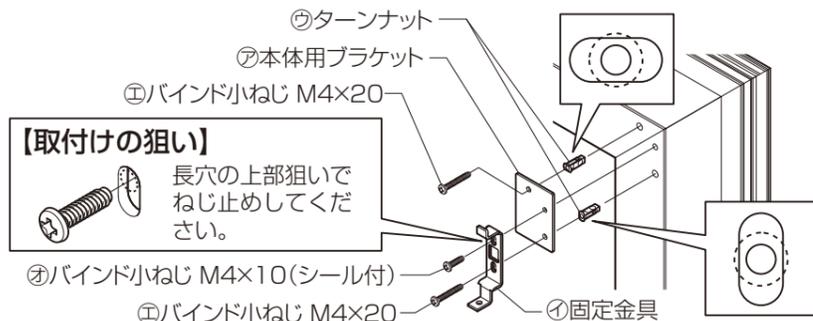
- 下穴をあける際は、指定のドリル径を使用してください。本体の落下につながるおそれがあります。



- ③ ターンナットを下穴に差込み、その上から本体用ブラケットと固定金具を同時にねじで固定します。
※ターンナットは必ず、図の向きで挿入してください。ナットが回転せず、固定できなくなります。

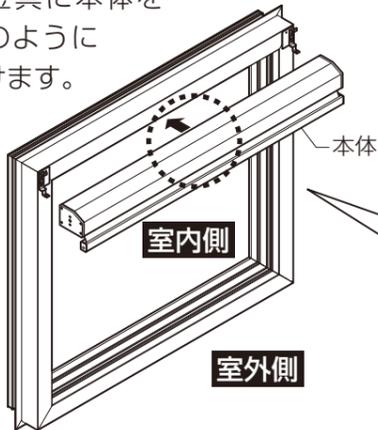
▲注意

- 固定金具の取付けねじは、 $2.5 \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ [$25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。本体の落下につながるおそれがあります。



2 本体の取付け

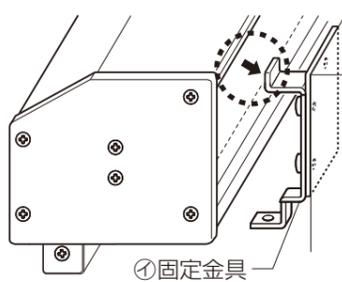
固定金具に本体を右図のように取付けます。



▲ 注意

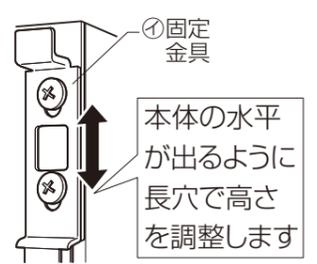
- 本体の落下につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・ 本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。
- ・ 本体の取付けねじは、 $2.5 \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ [$25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

① 本体を仮固定します



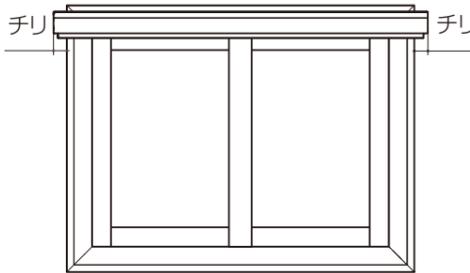
1. 本体の背に固定金具をあてます。
2. 本体リップ部に引っ掛けます

② 高さ調整をします

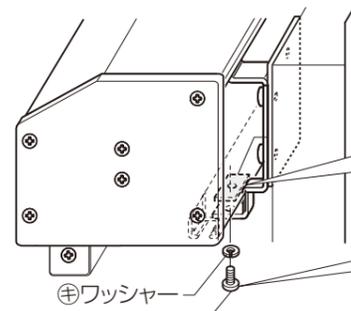


本体の水平が出るように長穴で高さを調整します

③ 左右のチリを合わせます



④ 本体を本固定します



1. 本体内の裏板を固定金具に合わせます
2. ねじで固定します

⑦ ナベ小ねじ M4×10

3 生地巻取りスピードの調整 ※お好みの巻取りスピードに変更したい場合のみ実施してください。

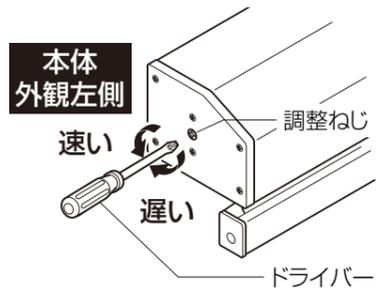
生地を引出し、巻取りスピードの確認をしてください。

お好みの巻取りスピードに変更したい場合は、「調整ねじ」でスピード調整をしてください。

※本製品は、ダンパーを搭載しており、生地巻き残し 30cm 程度から減速し、ゆっくり巻き上がる機構になっています。

※巻取りスピードは、気温やサイズなどにより異なります。

※2枚仕様の場合、本体外観右側にも「調整ねじ」があります。右側のねじの調整方向は左側と逆回転になります。

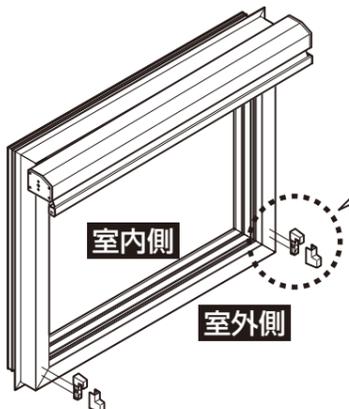


中間フック（有償品）取付けの際も以下（4）の手順をご確認ください。

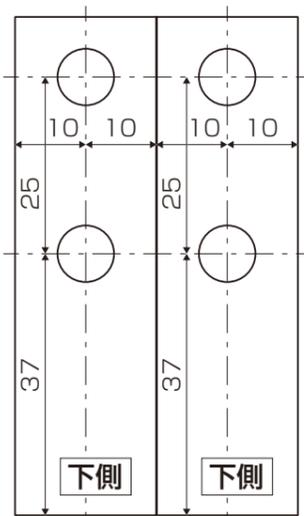
※中間フック（有償品）の取付け高さは任意になります。

※2枚仕様の場合、【2枚仕様 枠付フック用】取付け説明書をご確認ください。

4 フックの取付け



< 墨出しシート >



① 縦枠に墨出しシートを図の位置に合わせフック取付け用の穴位置を墨出しをします。

② 墨出し位置に一度 $\phi 4.5$ 程度の下穴をあけ、さらに $\phi 8.2$ の下穴をあけます。

▲ 注意

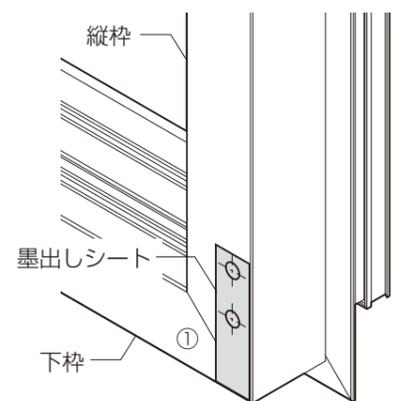
- 下穴をあける際は、指定のドリル径を使用してください。部品の落下につながるおそれがあります。

③ ターンナットを下穴に差込み、その上からフックをねじで固定します。

※ターンナットは必ず、図の向きで挿入してください。ナットが回転せず、固定できなくなります。

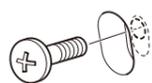
④ 左右の高さが合うように取付位置の調整を行ってください。

⑤ フックカバーを取付けます。



※墨出しシートで定めた位置は、推奨寸法です。それより下に取付けると枠が破損するおそれがありますので、推奨位置より下に取付けないでください。

[取付けの狙い]



長穴の上部狙いでねじ止めしてください。
※ $1.0\text{N}\cdot\text{m}$ [$10\text{kgf}\cdot\text{cm}$] 程度のトルクでねじ止めしてください。

⑧ バインド小ねじ M4×20

⑨ ターンナット
⑩ フック

⑪ バインド小ねじ M4×20

